

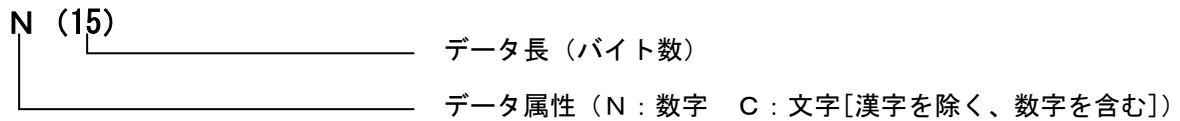
01.総合振込ファイル（CSV形式）

- (a) 総合振込ファイル（CSV形式）の基本事項
レコードフォーマット（CSV形式）各表の基本事項を示す。

表1 レコードフォーマットの例

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	金融機関コード	N (4)	振込先金融機関コード		○	
2	ダミー	C (17)	未使用		—	
3	EDI情報	C (40)	EDI情報		△	

・「データ長」欄の見方



・「区分」欄の見方

表2 区分内容

区分欄	内容
‘○’	必ず設定が必要な項目
‘△’	条件により設定する必要がある項目
‘—’	設定なし（初期値を設定）。または入力不要

・設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値について

設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値を初期値として、データ属性ごとに以下の
ように値を設定する。

表3 設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値（初期値）

項番	データ属性	初期値
1	N	設定不要である。
2	C	設定不要である。

(b) ファイル形式

ヘッダ レコード	改 行	データ レコード1	改 行	データ レコードN	改 行	トレーラ レコード	改 行	エンド レコード	改 行
←可変長→	2 バ イ ト	←可変長→	2 バ イ ト		←可変長→	2 バ イ ト	←可変長→	2 バ イ ト	←可変長→	2 バ イ ト

図1 CSV形式のファイル形式

【注意事項】

- ・本ファイルフォーマットはCSV形式とし、項目区切りはカンマ（,）を使用するものとする。
- ・改行コードは、「CR+LF（0d0a）」、「CR（0d）」、「LF（0a）」とする。
- ・エンドレコード後の改行コード及びEOF（1a）は、任意。
- ・ファイル構成は、シングルファイルのみとなる。（マルチサブファイル不可）
- ・データ属性によらず、先頭半角スペース、後半角スペースをシステムで削除する。
なお、全角スペースは削除対象外とする。
- ・ヘッダ・データ・トレーラ・エンドレコード単位の項目数チェックは行わない。

(c) ファイルフォーマット

表4 ヘッダレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	1: ヘッダレコード	○	
2	種別コード	N (2)	業務種別	21: 総合振込	○	
3	コード区分	N (1)	文字コード種別	0: JIS 1: EBCDIC	○	
4	委託者コード	N (10)	金融機関が採番した委託者コード		△	
5	委託者名	C (40)	振込元の委託者名		△	(注1)
6	取組日	N (4)	振込指定日	MMDD	○	(注2)
7	仕向銀行番号	N (4)	取引金融機関コード (統一金融機関番号)		△	
8	仕向銀行名	C (15)	取引金融機関名称		—	
9	仕向支店番号	N (3)	取引営業店コード (統一店番号)		△	
10	仕向支店名	C (15)	取引営業店名称		—	
11	預金種目 (依頼人)	N (1)	振込依頼人の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 9: その他	△	
12	口座番号 (依頼人)	N (7)	振込依頼人の 口座番号		△	
13	ダミー	C (17)	未使用		—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	、 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 3桁での設定も可能とする。ただし、3桁で設定された場合は、後方の半角スペース削除後、前方に"0"を設定する。

表5 トレーラレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	8: トレーラレコード	○	
2	合計件数	N (6)	データレコード 件数の合計		○	
3	合計金額	N (12)	データレコードの 振込金額の合計		○	
4	ダミー	C (101)	未使用		—	

総合振込業務

表6 エンドレコードのレコードフォーマット

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	9: エンドレコード	○	
2	ダミー	C (119)	未使用		—	

表7 データレコードのレコードフォーマット (1/2)

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	データ区分	N (1)	レコード種別	2: データレコード	○	
2	被仕向 銀行番号	N (4)	振込先金融機関コード (統一金融機関番号)		○	
3	被仕向 銀行名	C (15)	振込先金融機関名称 (カナ)		△	(注1) (注2)
4	被仕向 支店番号	N (3)	振込先営業店コード (統一店番号)		○	
5	被仕向 支店名	C (15)	振込先営業店名称 (カナ)		△	(注1)
6	手形交換所 番号	N (4)	未使用		—	
7	預金種目	N (1)	振込先の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 4: 貯蓄預金 9: その他	○	
8	口座番号	N (7)	振込先の口座番号		○	
9	受取人名	C (30)	受取人名 (カナ)		○	(注1)
10	振込金額	N (10)	ご依頼金額		○	(注2)
11	新規コード	N (1)	未使用		—	
12	顧客コード1	C (10)	依頼人が定めた受取人 識別の為の顧客コード 情報		△	識別表示欄に 「Y」以外を 付与した場合に 設定 (注1)
13	顧客コード2	C (10)			△	
12 13	EDI情報	C (20)	依頼人から受取人に 対して通知する EDI情報		△	識別表示欄に 「Y」を付与した 場合に設定 (注1)

総合振込業務

表7 データレコードのレコードフォーマット (2/2)

項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
14	振込区分	N (1)	未使用	7: 電信振込 8: 文書振込	—	
15	識別表示	C (1)	EDI情報の 使用識別	Y: EDIとして使用 スペース: 顧客コード として使用または未使用	△	「Y」以外の文字が 入力された場合、 スペースとして扱う。 (注1)
16	ダミー	C (7)	未使用		—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	、 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 金額が0円の明細は金融機関ホストへの送信対象とならない。
なお、確定・承認操作は可能である。